



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月30日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3104 URL <https://www.fujibo.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 雅偉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 佐々木 辰也 TEL 03-3665-7612
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	11,253	8.4	1,935	25.1	2,052	28.0	1,482	37.6
2025年3月期第1四半期	10,381	22.0	1,546	244.4	1,603	111.2	1,077	87.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,299百万円(4.5%) 2025年3月期第1四半期 1,243百万円(55.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	130.85	—
2025年3月期第1四半期	95.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	65,583	47,697	72.7
2025年3月期	66,608	47,460	71.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 47,697百万円 2025年3月期 47,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	60.00	—	70.00	130.00
2026年3月期					
2026年3月期(予想)		75.00	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,700	7.8	3,380	12.9	3,480	13.3	2,270	8.3	200.96
通期	46,200	7.7	7,000	8.1	7,200	7.9	4,700	5.0	416.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	11,354,000株	2025年3月期	11,354,000株
2026年3月期1Q	62,533株	2025年3月期	10,733株
2026年3月期1Q	11,329,294株	2025年3月期1Q	11,338,761株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げによる雇用・所得環境の改善や、各種経済政策の効果により、景気は緩やかな回復が続いているものの、海外景気の下振れリスクや、米国関税政策の影響、継続的な物価上昇、金利上昇などによる企業の経済活動や個人消費への影響が懸念されるなど、依然として不透明な状況が続いています。

このような経営環境の下、当社グループは当期を最終年度とする中期経営計画『増強21-25』の基本戦略に基づき、「事業ポートフォリオの改革」と「各事業の増強」に取り組んでいます。事業の柱である研磨材事業は、AI関連向け先端半導体の需要増加を背景に、受注が堅調に推移しました。さらに、化学工業品事業においても、半導体を含む電子材料市場は拡大を続けており、こちらも受注が堅調に推移しました。一方、生活衣料事業は、海外向け衣料品の売上は海外市場での需要の高まりを受けて引き続き堅調に推移しましたが、インフレによる消費マインドの低下等により、国内販売は総じて苦戦するなど、厳しい環境が続きました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比872百万円(8.4%)増収の11,253百万円、営業利益は388百万円(25.1%)増益の1,935百万円、経常利益は449百万円(28.0%)増益の2,052百万円となりました。これに特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比405百万円(37.6%)増益の1,482百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①研磨材事業

世界の半導体市場は、2024年から2025年にかけて、継続的な成長が見込まれております。このような中、超精密加工用研磨材の半導体デバイス用途(CMP)は、生成AIの普及によるHBMなどのメモリや最先端ロジック向け半導体の需要の増加とそれに伴う一部ユーザーの在庫水準の引き上げにより受注が増加しました。シリコンウエハー用途は、汎用品用途の需要は弱いものの、先端品用途の需要は堅調で一定水準の売上を確保しました。ハードディスク用途はデータセンター向けの需要が戻り、液晶ガラス用途では2024年後半からTV需要の増加によりパネルの消費も加速しており、受注も回復しました。

この結果、売上高は前年同期比620百万円(13.4%)増収の5,240百万円となり、営業利益は331百万円(28.9%)増益の1,479百万円となりました。

②化学工業品事業

機能性材料、医薬中間体および農薬中間体などの受託製造は、農薬関連で世界的な在庫調整が継続しているものの、半導体を含む電子材料市場の拡大が継続し、機能性材料を中心に受注が堅調に推移しました。柳井工場・武生工場共に、前年対比で稼働は改善しました。

この結果、売上高は前年同期比339百万円(10.3%)増収の3,636百万円となり、営業利益は88百万円(32.6%)増益の358百万円となりました。

③生活衣料事業

繊維素材は、人件費の増加やコストの高騰、円安の影響を受け、厳しい環境が続いています。一方、繊維製品においては、ネット販売では、SNSや検索広告などのWebマーケティングを強化し、ネット専用製品の拡充を図ることで効果的な商品訴求を図りました。また、高品質な日本製品が評価され、海外向けの販売は好調に推移しました。しかし、量販店の店舗減少や消費者の節約志向の高まりにより、国内市場では苦戦しています。さらに、円安の進行に伴う原材料や資材の価格高騰が続いているため、利益面では粗利率が低下しました。

この結果、売上高は前年同期比181百万円(10.1%)減収の1,615百万円となり、営業利益は60百万円(32.7%)減益の123百万円となりました。

④その他

化成部品部門は、医療機器用部品およびデジタルカメラ用部品の受注が堅調となり、前年比で増収・増益となりました。金型部門は、自動車メーカーの品質不正問題やEV化シフトの遅れ、対米向け関税の影響などにより、依然として不透明な状況が続いています。また、事務機器用金型が開発案件の端境期にあることや、車載コネクタやスマートフォン向けホットランナーの需要が低調であることから、厳しい状況が続きました。

この結果、売上高は前年同期比93百万円(13.9%)増収の760百万円となり、営業利益は29百万円増益の26百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて1,025百万円減少の65,583百万円となりました。

流動資産は1,494百万円減少の23,558百万円となりましたが、これは現金及び預金や売上債権が減少したことなどによります。

固定資産は468百万円増加の42,025百万円となりましたが、これは主として化学工業品事業における設備投資により有形固定資産が増加したことによります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて1,263百万円減少の17,885百万円となりました。

流動負債は1,384百万円減少の11,114百万円、固定負債は121百万円増加の6,770百万円となりました。これは、仕入債務や未払法人税等が減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて237百万円増加し、47,697百万円となりました。これは、剰余金の配当を794百万円実施し、自己株式を267百万円取得したことなどによる減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加が1,482百万円あったことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、全体としては概ね予想通りに推移しているため、通期の業績予想につきましては2025年5月15日公表の数値から変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,065	6,633
受取手形及び売掛金	10,038	9,539
電子記録債権	533	504
商品及び製品	1,031	1,184
仕掛品	2,558	2,611
原材料及び貯蔵品	1,830	2,053
その他	1,000	1,038
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	25,052	23,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,080	11,799
機械装置及び運搬具（純額）	6,989	6,909
土地	15,068	14,980
その他（純額）	2,637	3,546
有形固定資産合計	36,776	37,235
無形固定資産		
のれん	862	827
その他	211	197
無形固定資産合計	1,073	1,025
投資その他の資産	3,705	3,764
固定資産合計	41,556	42,025
資産合計	66,608	65,583

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,772	3,739
電子記録債務	1,276	1,948
短期借入金	321	239
未払法人税等	1,863	461
引当金	815	440
その他	3,449	4,284
流動負債合計	12,499	11,114
固定負債		
長期借入金	150	120
退職給付に係る負債	4,088	4,032
資産除去債務	523	520
その他	1,887	2,097
固定負債合計	6,649	6,770
負債合計	19,148	17,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	1,273	1,273
利益剰余金	35,846	36,534
自己株式	△28	△295
株主資本合計	43,765	44,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,329	1,428
繰延ヘッジ損益	△5	△1
土地再評価差額金	1,505	1,505
為替換算調整勘定	936	647
退職給付に係る調整累計額	△71	△69
その他の包括利益累計額合計	3,694	3,510
非支配株主持分	0	0
純資産合計	47,460	47,697
負債純資産合計	66,608	65,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	10,381	11,253
売上原価	6,814	7,201
売上総利益	3,566	4,051
販売費及び一般管理費		
給料及び賃金	387	400
退職給付費用	38	37
賞与引当金繰入額	93	97
技術研究費	428	409
その他	1,072	1,172
販売費及び一般管理費合計	2,020	2,116
営業利益	1,546	1,935
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	32	49
固定資産賃貸料	74	74
その他	7	40
営業外収益合計	114	164
営業外費用		
支払利息	6	1
固定資産賃貸費用	15	14
為替差損	18	—
構造改革費用	—	11
その他	18	18
営業外費用合計	57	46
経常利益	1,603	2,052
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産処分損	24	50
減損損失	0	0
特別損失合計	24	50
税金等調整前四半期純利益	1,582	2,002
法人税、住民税及び事業税	374	303
法人税等調整額	130	215
法人税等合計	505	519
四半期純利益	1,077	1,482
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,077	1,482

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,077	1,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106	98
繰延ヘッジ損益	7	4
為替換算調整勘定	50	△288
退職給付に係る調整額	1	2
その他の包括利益合計	166	△183
四半期包括利益	1,243	1,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,243	1,299
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	4,619	3,296	1,796	9,713	667	10,381	—	10,381
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,619	3,296	1,796	9,713	667	10,381	—	10,381
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	0	—	0	△0	—
計	4,620	3,296	1,796	9,713	667	10,381	△0	10,381
セグメント利益又は損 失(△)	1,147	270	184	1,602	△56	1,546	0	1,546

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成成品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	5,240	3,636	1,615	10,492	760	11,253	—	11,253
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,240	3,636	1,615	10,492	760	11,253	—	11,253
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	1	1	—	1	△1	—
計	5,240	3,636	1,616	10,493	760	11,254	△1	11,253
セグメント利益又は損 失(△)	1,479	358	123	1,962	△26	1,935	△0	1,935

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	772百万円	769百万円
のれんの償却額	35	35